

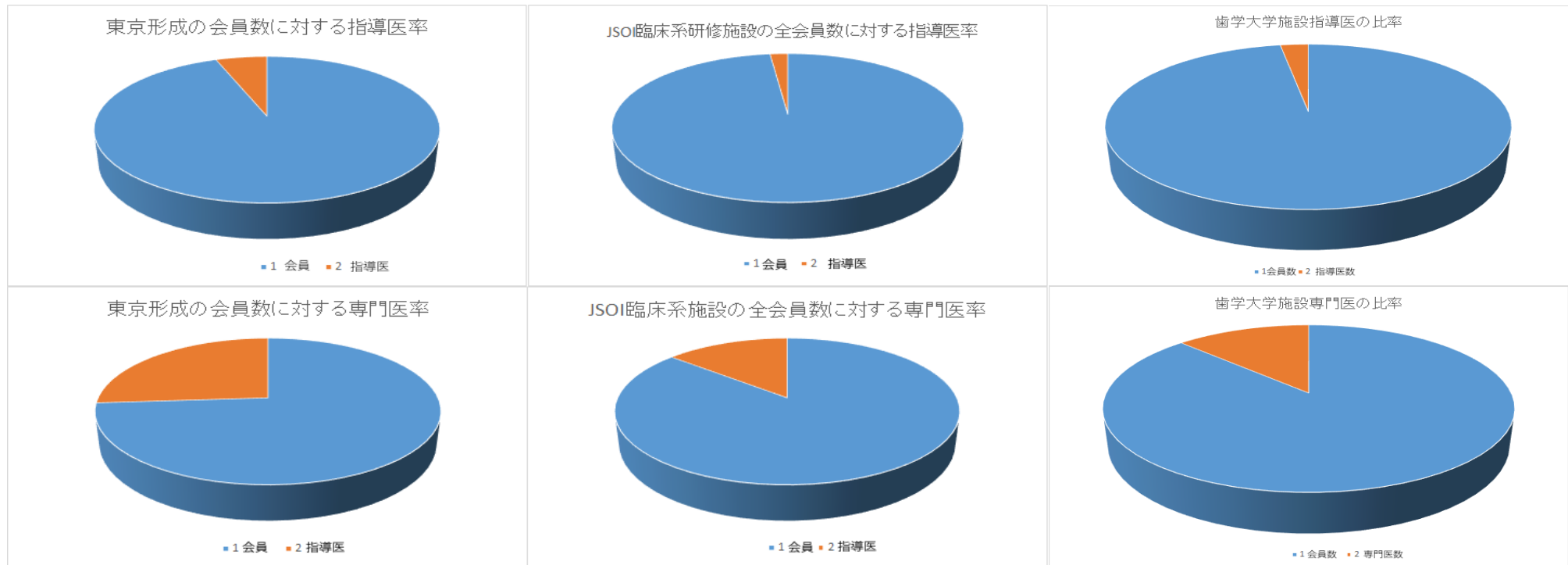
東京形成歯科研究会 現在～過去～未来 指導医取得への道
Tokyo Plastic Dental Society, Present, Past and Future.

○ Watanabe T, Tsukioka T, Kawabata H, Isobe K, Kitamura Y, Tsujino T, Okudera T, Okudera H

一般社団法人東京形成歯科研究会の紹介をします。創立は1980年で40周年を迎えました。さらに2015年4月に法人格(一般社団法人)取得し、2015年8月に再生医療等委員会の認定を厚労省より受けました。現在会員数は100名前後ですが、会員同士が顔と顔の見える関係で意思疎通をはかりながら日々の臨床への取り組みについての議論や、臨床を行うことで生まれてきた疑問の基礎研究などを行っています。2018、2019年度で指導医5名を輩出し、学会の認定医取得のために日々研鑽を重ねています。

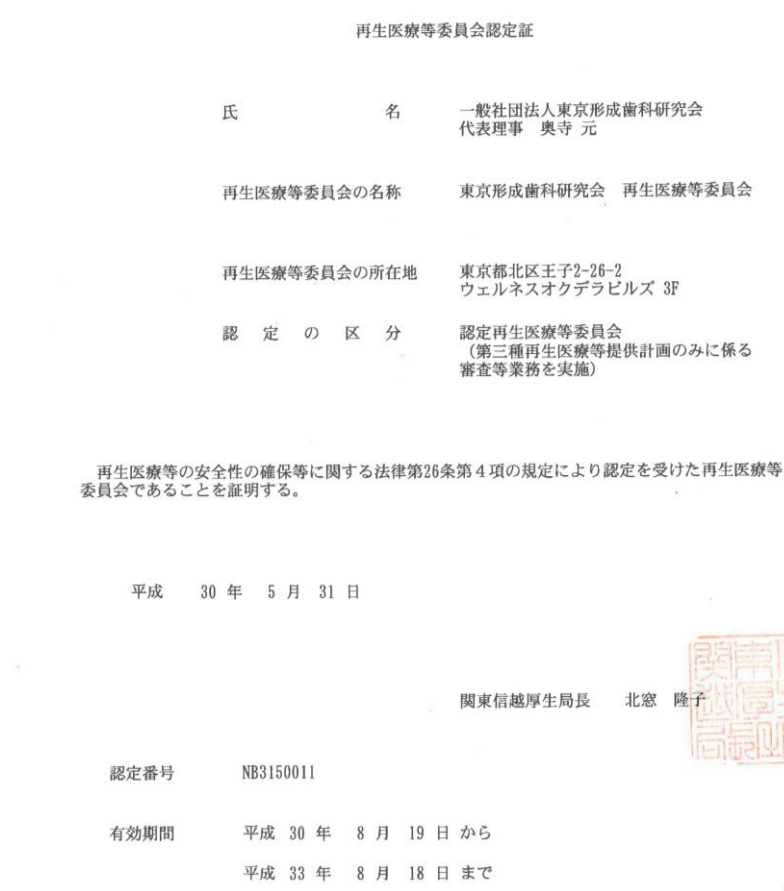
日本口腔インプラント学会(JSOI)が施設長会議などを出している資料より、JSOI全会員数に対して臨床系施設に所

属する会員は約34%であるのに対して、歯科大学系のJSOI認定研修施設に所属する会員は約14%と少ないです。その所属会員に関しての専門医と指導医の比率は、臨床施設に所属する全会員中でのJSOI専門医の占める比率は平均約16%、指導医は約2%であるのに対し、当研修施設は専門医35%、指導医は6%と大きな乖離があります。指導医取得のためには論文業績などが必要になってきますが、われわれは2015年から新潟大学大学院歯科薬理学分野准教授の川瀬先生と共同研究を行っており、2020年5月までに執筆した論文は約20報に及んでおります。



特に2016年にJSOIの英文誌であるInternational Journal of Implant Dentistry (IJID)に掲載された増木らが著者の“Growth Factor and Pro-Inflammatory Cytokine Contents in Platelet-Rich Plasma (PRP), Plasma Rich in Growth Factors (PRGF), Advanced Platelet-Rich Fibrin (A-PRF), and Concentrated Growth Factors (CGF)”論文はIJIDの中でも2018年10月時点で引用数が一番

多い論文でもあり、このように海外でも高く評価されている論文も世に送り出してきました。この論文の出発点は、日々の臨床で多血小板血漿の利用から、成長因子の定量化ができないかと、会員同士の会話に端を発したものであり多血小板血漿の各々のシステムの違いによる比較検討から論文作成にいたりました。



海外での研究発表の様子. 2018年のAOで北村がポスター賞候補になった時の発表.



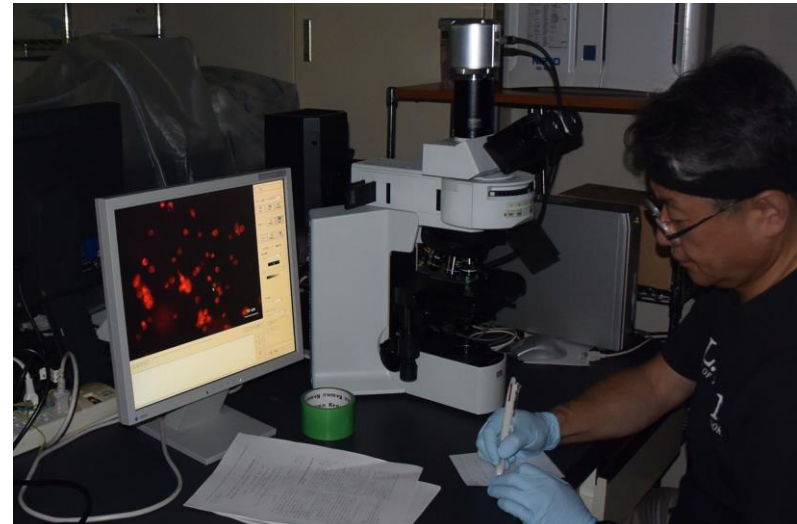
2015年の増殖因子定量実験の様子.
研究への参加は論文著者のための最低条件である.



2015年, 共同研究開始当初の集合写真.



研究用PRF調製の様子.



蛍光免疫染色による活性化血小板の観察.



引張試験によるPRFの機械的強度評価の様子.

その後も日々臨床業務の間を縫って共通の課題について同等の立場で川瀬先生との共同研究を行い、一年に約4報のペースで論文作成しており現在は、

日本大学松戸歯学部や神奈川歯科大学との共同研究もありますが、その参加会員が汗をかきながら行っている共同研究の模様をこのたびは紹介します。

[illegible]

当会のホームページ.

そのような活動とは別に、JSOI総会や各支部会での研究発表、海外での学会参加や研究発表も行っていますが、一方では新規入会の先生方からの症例相談、またJSOIの専門医試験を受験予定の会員に、Chat workというWeb会議システム

今後もWeb会議システムなども多用し、特に若い先生方の専門医取得のお手伝



通常の新規受講生向けの講習会風景。豚類を使った実習は新規受講生以外の既存会員も希望者は積極的に参加している。日々の臨床の疑問をこのような実習の場でもディスカッションするには有効な時間となっている。

を使ってパノラマエックス線写真や口腔内写真からわかる試験提出にふさわしい症例選びの手助けなども行っており、その様子も紹介します。

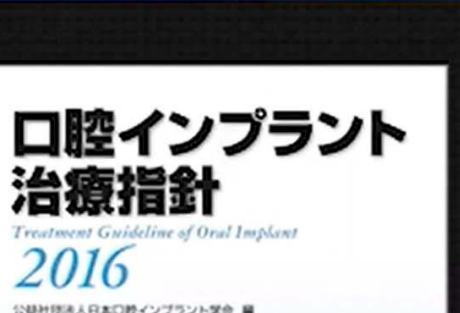
いをしていく施設を目指して、現在の会員の技術向上の様子を紹介します。

[illegible]

海外から講師を招聘して各種講演会も行っている。上記ポスターは日本再生医療学会の後援を得て行われた講演会のブリーフ。

[illegible]

Chat workというWeb会議システムで、専門医試験受験のための症例相談を行っている様子。このWeb会議システムであれば、パノラマエックス線写真や口腔内写真などを指導する会員も共有でき、それぞれの都合のいい時刻にアクセスしてきめ細かな受験指導を行っています。



**口腔インプラント
治療指針**
Treatment Guideline of Oral Implant
2016
公認口腔インプラント学会 編

ji
Japanese Society
for Oral Implantology



```

graph TD
    A[初診] --> B[検査・検査]
    B --> C[局所診査]
    B --> D[模型上検査]
    B --> E[X線検査診断]
    C --> F[口腔内検査]
    D --> G[咬合関係  
ガイド  
クリアランス  
診断用ワックスアップ]
    E --> H[パノラマ  
CT  
解剖構造  
骨量  
骨質]
    F --> I[診断]
    G --> I
    H --> I
    
```



加藤 哲也 先生

09637

🔊 📄

日本口腔インプラント学会編集：口腔インプラント治療指針 監査責任者
東京, 2012, p.4

🔍 || ⏮

02315

📌 📄 🔍 ⌂ ...

今年度Zoom会議システムを使って、当研究会での100時間セミナーを行っている様子。対面式の講義ができないためこのような形式で行っているが、受講生もパソコン操作に慣れ双方向のコミュニケーションが取れ、充実した講義が行われている。

社)日本口腔インプラント学会第50回学術大会
利益相反(COI)開示2020年9月19~25日
筆頭発表者氏名: 渡辺 泰典

本演題に関して、発表者の開示すべき利益相反状態はありません。